資料２－２

地域づくり推進ビジョン 概要版

道北 連携地域

上川総合振興局 留萌振興局 宗谷総合振興局 旭川開発建設部 留萌開発建設部 稚内開発建設部

構成市町村

旭川市、留萌市、稚内市、士別市、名寄市、富良野市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町

地域のめざす姿

天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園など広大な土地や特色ある自然環境などの多種多様な地域資源を活用した産業を振興し、いつまでも心豊かで安心して暮らすことのできる活力ある「道北連携地域」

【　食　】	地域特性を活かした産業振興
【観　光】	多様な魅力あふれる観光の振興
【環境・地域づくり・暮らし】	豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
【離　島】	離島地域の振興
【社会基盤】	生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

概ね10年の地域のめざす姿を示しています

地域の現状・課題

連携地域の現状・課題

【　食　】	農産物の高品質化、農業経営の低コスト・省力化、クリーン農業拡大、自給飼料主体の草地型酪農等の推進、衛生的な飼養管理の徹底等による生産性の向上、地域や農業の積極的PR、有害鳥獣被害対策強化、水産資源の適正管理・栽培漁業推進・海獣被害対策、地域食材の特性を活かした商品開発や磨き上げ・販路拡大・食クラスター活動等
【観　光】	観光関連産業における人材の確保・育成、観光DXの推進、観光客の受入体制の充実、交流人口拡大に向けた交通ネットワークの充実・強化、サイクルツーリズム等の広域周遊観光の仕組みづくり等
【環境・地域づくり・暮らし】	環境保全意識の維持・高揚を図る取組、高山植物の盗掘防止、登山道の協働管理の人材育成、木質バイオマスの安定的供給、新エネルギー利用の推進するための情報共有・発信・地域連携、広域的医療・介護の連携、医療従事者の地域偏在解消、防災体制強化、ちょっと暮らし・U・Iターンの促進、ワーケーションの推進、移住先での就労機会確保、地域おこし協力隊の確保・定着、テレワーク環境の整備等
【離　島】	繁忙期における労働力不足への対応、新規漁業就業者確保、燃料価格高騰等に対する交通事業者への継続的支援、資材費など物流コスト上昇への対応策検討、アドベンチャートラベル・広域周遊・体験観光を意識した離島ならではの観光資源の磨き上げ、観光客の利便性向上や効果的な情報発信等
【社会基盤】	地域の生活と産業を支える道路の整備や空港・港湾などの機能強化並びに鉄道など公共交通の維持等 地域産業はもとより、教育・防災・医療・福祉など住み慣れた地域で安全・安心でより快適かつ、一人一人に最適化された暮らしを可能とするデジタル化の推進等

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅰ 地域のめざす姿

〈概ね１０年の地域のめざす姿を示しています。〉

天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園など広大な土地や
特色ある自然環境などの多種多様な地域資源を活用した産業を振興し、
いつまでも心豊かで安心して暮らすことのできる活力ある「道北連携地域」

高品質米を産出する稲作、多種多様な畑作、大規模な酪農、海域の特性を活かした漁業、豊富な森林資源を背景とした林業など、農林水産資源を活用した持続的な産業の振興に取り組みます。

多様な観光資源を活かしたアドベンチャートラベルの推進など、付加価値の高い魅力あふれる観光振興に取り組むとともに、風力、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの活用など、豊かな自然と調和した脱炭素型の地域づくりを進めます。

また、離島振興に取り組むとともに、地域の魅力ある資源を活かした移住・定住の促進や地域おこし協力隊を含めた外部人材の活用など関係人口の創出・拡大に向けた取組を進めます。

■　連携地域の主な施策の方向（今後５年程度）

１　地域特性を活かした産業振興	２　多様な魅力あふれる観光の振興	３　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり	４　離島地域の振興	５　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成
・基幹産業である農林水産業における生産基盤の強化と安定供給、より効率的で高品質な生産の推進、輸送体制の確保、地域産業における多様な担い手と人材が活躍できる環境づくり ・地域の特色ある農林水産物のブランド力の強化や６次産業化など産業間連携の展開、国内外への販路拡大 ・産学官金の連携による産業の創出・育成 ・地域資源を活かした企業立地の促進 ・建設産業の経営力強化などの促進	・雄大で美しい自然環境や多彩な食などの地域資源を活かした通年・滞在型観光地づくりや広域観光の推進 ・外国人観光客の受入体制の整備・促進 ・広域的なスポーツ、アウトドアイベントの開催やスポーツ・音楽合宿の誘致等、これまでの広域連携を踏まえた航空とバス・鉄道を活用した観光客誘致の推進	・脱炭素型の地域づくりの実現に向け、自然特性を活かした風力、太陽光、雪氷、地熱、木質バイオマスなどを活用した新エネルギーなどの導入や普及を推進 ・地域医療と保健・福祉の充実、少子化対策に向けた取組の推進 ・災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化 ・コンパクトなまちづくりや高齢者が暮らしやすい環境づくりの推進 ・地域を支える多様な人材の育成・確保と移住・定住の促進やワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大に向けた取組の推進 ・野生鳥獣の適正な保護管理・利活用のための取組の推進	・医療や福祉、交通の維持・確保など離島に人が住み続けるための環境整備 ・美しい自然や海の恵みを活かした観光産業や水産業の振興 ・持続可能な地域社会に向けた定住・移住の取組促進と関係人口の創出・拡大	・地域の生活と産業を支える交通ネットワークの構築及び維持・充実、高度情報通信網の整備

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅱ　地域の現状・課題

1　地域特性を活かした産業振興

・持続可能で安定的な農業経営を図るため、さらなる高品質化や低コスト・省力化に向けて、関係機関・団体が一体となり、各地域の条件や特性を活かした中で、継続的な取組を進めることが必要です。
・持続可能な農業・農村を支えるクリーン農業の安定した拡大を図るため、さらなる生産者へのフォローアップと消費者等へのＰＲが必要です。
・自給飼料主体の草地型酪農等を推進するため、良質な自給飼料の生産拡大と、衛生的な飼養管理の徹底等による生産性の向上が必要です。
・新規就農者を確保するため、地域や農業を紹介する積極的なＰＲ活動を継続的に行っていくとともに、研修会の開催等による農業の担い手のスキルアップ（底上げ）を実施していくことが必要です。
・農産物を安定的に生産し所得の確保を図るため、有害鳥獣の被害対策強化が求められています。
・人工林資源が利用期を迎えていることから、森林認証を含めた適切な森林整備による持続可能な森林管理と、搬出される地域材（森林認証材等）の安定的な供給による森林資源の循環利用を着実に進める必要があります。
・水産資源の回復・増大や水域環境の保全を図るため、水産資源の持続的な利用に向けた適正な資源管理や栽培漁業の推進、深刻な漁業被害をもたらしている海獣被害対策の強化が求められています。
・中小・小規模企業は人手不足や後継者難などに直面していることから、地域の人材確保・定着を図るため、業界、行政、教育機関等の地域関係機関が連携した取組を更に推進していく必要があります。
・食のブランド化を促進するため、地域食材の特性を活かした商品の開発や磨き上げ、販路拡大に向けたプロモーションの強化のほか、食クラスター活動の推進及び食クラスター活動に携わる人材の育成が必要とされています。
・頻発する災害から地域を守る建設産業の経営力の強化と技術をつなぐ担い手の確保・育成を間断なく進めていく必要があります。

2　多様な魅力あふれる観光の振興

・宿泊や交通など観光関連産業における人材の確保・育成、観光ＤＸの推進、さらには観光客の移動の利便性向上など、受入体制の充実を図っていくことが重要です。
・道内外、海外の観光客や旅行会社等に対し道北の観光情報を効果的に発信することが必要です。
・交流人口の拡大に向け、観光客の移動を支える航空路などの交通ネットワークの充実・強化のほか、サイクルツーリズムといった広域周遊観光のための仕組みづくりが必要です。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II　地域の現状・課題

3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

・環境保全意識の維持・高揚を図るためには、地元の自然に親しむ機会を創出するなど、取組を継続・実施していくとともに、高山植物の盗掘防止を目的とした効果的な監視体制を構築する必要があります。また、登山道の協働管理のためには、引き続き人材を育成していく必要があります。
・脱炭素型の地域づくりに向け、化石燃料の代替による二酸化炭素の排出を抑制するためには、木質バイオマスの安定的な供給や新エネルギー利用の推進など、引き続き関係者との情報共有や連携した取組が必要です。
・賦存するエネルギーの種別や量は地域ごとに異なることから、その地域の特色を生かした取組を進めることが必要です。また、多様化・高度化する新エネルギー導入や利用に係る相談に対応するためには、知識の習得や情報の共有・発信など、地域が連携した取組が必要です。
・二次医療圏における広域的な医療と介護の連携や医療従事者の地域偏在の解消が必要です。
・防災体制の強化等に当たっては、継続的な関係機関との連携体制（公助体制）の構築や、地域住民に対する啓発活動を通じた自助共助の意識づくりが必要です。
・地方移住への関心が高まっていることを踏まえ、「ちょっと暮らし」といった短期的な移住をはじめ、Ｕ・Ｉターンの促進、ワーケーションの推進や移住先での就労機会の確保のほか、地域おこし協力隊の確保・定着、テレワーク環境の整備など、日々の生活と仕事に関連した多様な取組を進める必要があります。
・野生鳥獣や海獣による被害のさらなる低減に向けて、担い手確保等による捕獲体制の強化や、効果的な捕獲手法の確立が必要です。

4　離島地域の振興

・全道的に見て、特に離島における漁業者（漁業組合員）の減少が顕著であり、引き続き地域の関係者が連携し、繁忙期における労働力不足への対応や新規漁業就業者の確保に取り組む必要があります。
・燃料価格の高騰といった厳しい条件下に置かれている交通事業者への継続的な支援とともに、資材費など物流コストの上昇に伴う島民生活への様々な影響について、離島町と連携し、対応策を検討する必要があります。
・アドベンチャートラベルに対する機運の高まりの中、広域周遊や体験観光を意識した離島ならではの観光資源の磨き上げとともに、回復基調にある観光需要を取り込むため、観光客の利便性向上や効果的な情報発信が必要です。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

II　地域の現状・課題

5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成
・高規格道路をはじめ、地域の生活と産業を支える道路の整備や空港・港湾などの機能強化並びに鉄道など公共交通の維持を図るなど、地域にとって必要な交通ネットワークを構築していく必要があります。 ・広域分散型の地域特性を有する道北地域においては、地域産業はもとより、教育・防災・医療・福祉など様々な分野においてＩＣＴやＡＩ、ロボットなどの未来技術を活用し、住み慣れた地域で安全・安心でより快適かつ、一人一人に最適化された暮らしを可能とするデジタル化の推進に向け、情報通信基盤の整備を促進する必要があります。

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

道北連携地域 地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要

：宗谷地域関係分

推進主体：国（赤字）、道（青字）

項目	1　食	2　観光	3　環境・地域づくり・暮らし	4　離島	5　社会基盤
地域のめざす姿	1 地域特性を活かした産業振興	2 多様な魅力あふれる観光の振興	3 豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり	4 離島地域の振興	5 生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成
地域重点プロジェクトの各プロジェクトの概要	1－（1）上川の農業の持続的な発展プロジェクト	2－（1）道北広域観光地域づくりプロジェクト	3－（1）ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト	4－（1）道北広域観光地域づくりプロジェクト【再掲】2－（1）	5－（1）北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト
	1－（2）留萌・宗谷の農業・水産業の持続的な発展プロジェクト	2－（2）魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト	3－（2）生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト	4－（2）留萌・宗谷の農業・水産業の持続的な発展プロジェクト【再掲】1－（2）	5－（2）生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくりプロジェクト【再掲】3－（2）
	1－（3）上川地域を支える担い手育成・人材確保プロジェクト	2－（3）るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト【再掲】1－（5）	3－（3）安全・安心な地域づくりプロジェクト	4－（3）魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト【再掲】2－（2）	5－（3）るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト【再掲】1－（5）
	1－（4）上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	2－（4）自然の恵みを享受宗谷共生プロジェクト	3－（4）新エネルギー導入・活用推進プロジェクト	4－（4）るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト【再掲】1－（5）	5－（4）魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト【再掲】2－（2）
	1－（5）るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト		3－（5）上川地域を支える担い手育成・人材確保プロジェクト【再掲】1－（3）	4－（5）るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト【再掲】1－（6）	5－（5）安全・安心な地域づくりプロジェクト【再掲】3－（3）
	1－（6）るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト		3－（6）自然と共生する上川地域づくりプロジェクト	4－（6）力強い宗谷の1次産業推進プロジェクト【再掲】1－（7）	5－（6）多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト【再掲】3－（10）
	1－（7）力強い宗谷の1次産業推進プロジェクト		3－（7）ポテンシャルを活かした「ゼロカーボンるもい」推進プロジェクト	4－（7）自然の恵みを享受宗谷共生プロジェクト【再掲】2－（4）	
			3－（8）るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト【再掲】1－（6）	4－（8）安全・安心な地域づくりプロジェクト【再掲】3－（3）	
			3－（9）自然の恵みを享受宗谷共生プロジェクト【再掲】2－（4）	4－（9）新エネルギー導入・活用推進プロジェクト【再掲】3－（4）	
			3－（10）多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト	4－（10）多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト【再掲】3－（10）	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（1）
上川の農業の持続的な発展プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域（上川）　**（1/1）**

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興

【プロジェクトの概要】
食料安全保障を支える上川の農業・食関連産業の持続的な発展に向け、「我が国を先導する農業の生産力強化」、「持続可能な農業の展開」及び「農業の持続性を支える農山村の振興」という基本方向に沿って施策を展開します。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
■我が国を先導する農業の生産力強化 ○我が国の農業を先導するイノベーション及び農業生産力を支える経営基盤の強化 ➢GPSガイダンスシステム、農業用ドローンの導入、ICT技術を活用した大型農作業機械の導入等のスマート農業を推進することにより、生産コストの低減、高品質生産、担い手への農地の利用集積を促進	国、道	➢物流システム構築に向けた取組の推進【官民共創の取組】 ・中継輸送・共同輸送の実証実験の実施 ・物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」の開催等	国、道、市町村、民間
○農業生産力を強化する生産基盤の整備・確保 ➢土壌改良と排水不良を改善し、農地の有効活用のための汎用化、土地生産性の向上、農業生産額の拡大を推進 ・直轄明渠排水事業（風連多寄地区）の推進	〃	■持続可能な農業の展開 ○持続的な生産体制の構築 ➢スマート技術や新たな生産技術の活用による環境負荷の軽減	〃
➢基幹的な農業水利施設の戦略的な保全管理を進め、施設の長寿命化やライフサイクルコスト低減を推進 ・国営かんがい排水事業（共栄近文二期地区）の推進 ・国営施設応急対策事業（鳥沼宇文地区）の推進	〃	■農業の持続性を支える農山村の振興 ○農山の自然環境・景観・文化の保全・継承 ➢「わが村は美しく－北海道」運動、食育、木育等の地域活動の展開や農山に対する理解醸成【官民共創の取組】	〃
➢ほ場の大区画化に併せ、水利用の高度化や水管理の高度化を図るため、水路のパイプライン化やＩＣＴの導入等による新たな農業水利システムの構築等を推進し、作業効率の向上や水管理の省力化を通じて、維持管理労力の低減を推進 ・国営緊急農地再編整備事業（愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の推進	〃	【官民共創の取組】 ・道北の持続可能な物流システム構築に向けた取組の推進（上川・宗谷管内） 取組内容：中継輸送・共同輸送の実証実験の実施、物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」の開催等 推進体制：共同輸送・中継輸送実装研究会（国、道、市町村、民間）	
➢スピーディーな物流を実現させ、安全・確実に農産物を供給するための道路整備の推進 ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進 ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・国道４０号音威子府バイパスの推進（R7年度開通予定） ・概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）（北海道縦貫自動車道（中川～天塩）、旭川十勝道路(上富良野～中富良野)）	国、道、市町村	・「わが村は美しく－北海道」運動の推進 取組内容：住民主体の地域活性化活動支援、食育等の地域活動の展開や農山漁村に対する理解醸成 推進体制：国、道、市町村、民間 ・道北地域づくりアクションプランの推進（上川管内） 取組内容：令和６年度に開催した道北地域づくりワークショップにて作成されたアクションプランの実行 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

1－（2）、4－（2）
留萌・宗谷の農業・水産業の持続的な発展プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域（留萌・宗谷）　（1/2）

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
食料安全保障を支える留萌・宗谷の農業・水産業・食関連産業の持続的な発展に向け、「我が国を先導する農業・水産業の生産力強化」、「国内外のマーケットに対応したバリューチェーンの構築」、「持続可能な農業・水産業の展開」、「農業・水産業の持続性を支える農山漁村の振興」という基本方向に沿って施策を展開します。

主な取組	主な実施主体
■我が国を先導する農業・水産業の生産力強化 ○我が国の農業・水産業を先導するイノベーション及び農業生産力を支える経営基盤の強化 ➤センサーやリモート制御による農業機械の操作等のスマート農業の導入により、地域ぐるみで収益性を向上させる取組を促進します。 ➤農地の大区画化による担い手への農地集積・集約化の加速化と、排水不良等の解消により、優良農地の確保を促進 ・国営総合農地防災事業(産士地区・勇知地区・幌延地区）の推進 ・国営農地再編整備事業（東宗谷地区）（R6~~年度~~完了~~予定~~）~~の推進~~	国、道、市町村、土地改良区、民間
○農業生産力を強化する生産基盤の整備・確保 ➤老朽化が進行する農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図るため、戦略的 保全管理を推進 ・基幹的農業水利施設の機能診断及び機能保全計画の策定	国、道、市町村、土地改良区、民間
➤集中豪雨の増加や大規模災害の発生等、災害リスクの高まりの対応するため、農業水利施設の耐震化・排水対策等の災害に強い農業生産基盤整備や「流域治水」の考え方に基づき事前防災対策（流域治水プロジェクト2.0の推進）等を推進【官民共創の取組】 ・国営総合農地防災事業(産士地区・勇知地区・幌延地区）の推進	国、道、市町村、土地改良区、民間
○水産業の生産力を支える水産基盤の整備 ➤海からの強風を遮る防風施設を整備し、荷揚げの安全性向上と水産物の品質向上を図るほか、衛生管理対策や流通機能の高度化・効率化に資する屋根付き岸壁の整備等による拠点漁港等の生産・流通機能 強化を進め、安全・安心な水産物の安定供給及び輸出促進 ・水産物流の効率化のための小型船だまり整備の推進（羽幌港、宗谷港） ・農水産物輸出促進のための屋根付き岸壁の整備（枝幸港） ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港、天塩港、枝幸港、鴛泊港、沓形港、香深港） ・屋根付き岸壁の整備推進（東浦漁港） ・防波堤、岸壁の整備推進（礼文西漁港、遠別漁港） ・防波堤、岸壁等の長寿命化対策のための補修工事の推進（東浦漁港・抜海漁港・礼文西漁港・仙法志漁港、苫前漁港、雄冬漁港） ・漁港内での稚ナマコ中間育成の実用化に向けた調査の実施（苫前漁港）	国、道、市町村、民間
○物流ネットワークの充実 ➤安定及び定時性が確保された輸送により、高鮮度の食材提供を図るため、高規格道路等のアクセスの強化、物流拠点である港湾、空港の機能強化と、これらを結ぶ広域的な物流ネットワークの整備を推進 ・国道40号天塩防災の推進 ・国道232号小平防災の推進 ・国道239号霧立防災の推進 ・国道238号浜猿防災の推進（R6.12.3 部分開通済） ・国道238号幌別橋架替の推進	国、道、市町村、民間
■農業・水産業の持続性を支える農山漁村の振興 ○農山漁村の所得と雇用機会の確保 ➤離島漁港等の整備を推進し、離島水産業の振興による地域活性化のほか、豊富な地域資源を活用した水産業と他の産業との連携による「北海道マリンビジョン」の推進や、農山漁村発 イノベーションの取組、海業の振興により地域活性化を促進【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間
○農山漁村の自然環境・景観・文化の保全・継承 ➤「わが村は美しく－北海道」運動、食育等の地域活動の展開や 農山漁村に対する理解醸成を推進【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（2）、4－（2）
留萌・宗谷の農業・水産業の持続的な発展プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域（留萌・宗谷）　（2/2）

主な取組	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
【官民共創の取組】 ・流域治水プロジェクト2.0の推進 取組内容：集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進 推進体制：流域治水協議会｛国、道、市町村)、民間 ・北海道マリンビジョンの推進（苫前地域、遠別地域、抜海地域、東浦地域、利尻地域、礼文地域） 取組内容：「地域マリンビジョン」に基づく、衛生管理強化、ブランド化の推進、水産物の安定供給、食育、オーナー制度、観光との連携等 推進体制：地域協議会（市町村、民間）国 ・「わが村は美しく－北海道」運動の推進 取組内容：住民主体の地域活性化活動支援、食育等の地域活動の展開や農山漁村に対する理解醸成 推進体制：国、道、市町村、民間 ・漁港内静穏水域を活用した蓄養・養殖事業（海業：苫前漁港） 取組内容：漁港ストック（静穏域）を活用し、ウニ・タコ等の蓄養モデルを構築、蓄養に必要なエサはブルーカーボンにも貢献できるコンブを養殖、背後地のキャンプ場や道の駅で蓄養した水産物を出荷・販売 推進体制：苫前町、留萌管内ブルーカーボン推進検討協議会（国、道、市町村、漁協、道総研） ・宗谷管内ブルーカーホン情報共有のための「プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の水産業における「ブルーカーボン」に関する構想・取組の情報共有及び意見交換・勉強会・セミナーを通じて「共創」発掘の場とするプラットフォーム構築を目指す。 推進体制：国、道、市町村、民間		・宗谷管内の「官民連携プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図ることを目的として、多様な施策の実施主体による官民連携のプラットフォームを構築する。 ①：宗谷管内の民間人を主体とした会議において意見交換を行い、取り組むべき年間のテーマを検討する。 ②：会議の検討結果等について、宗谷総合振興局及び管内自治体に情報共有し、宗谷地域づくり連携会議において、テーマについて意見交換を行う。 ③：上記①及び②の意見交換の結果を基に、シンポジウムを開催する。 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

1－（3）、3－（5）
上川地域を支える担い手育成・人材確保プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：上川地域　（1/1）

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興
3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

【プロジェクトの概要】
人口減少や少子高齢化の進行により、地域産業を支える働き手の不足が喫緊の課題であり、その対策が必要となっています。
このため、上川地域の魅力や産業・雇用などの情報を広く発信し、若年層をはじめとする現役世代の移住・定住を促進するほか、管内企業の採用力や生産性の向上、職場教育の充実による多様な働き方に対応した職場環境整備の促進、地域連携による人材確保等の取組の推進など、今後の人口減少社会を見据えた地域産業の担い手・後継者対策を進めています。

主な取組	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
○　地域連携による人材確保等の取組の推進 ・業界・企業・行政が連携した人材確保対策の推進 ・高校生の地域定着に向けた就業支援や情報発信 ・産学官金連携によるトライアルワーク事業の推進 ・事業者の採用力・定着力強化に向けた支援 ・外国人材受入のための環境整備 ・中小企業の円滑な事業承継の促進 ○　各分野の担い手育成・人材確保に向けた取組の推進 ・新規就農者等を対象とした研修会の開催 ・高校生を対象とした農業研修や林業学習会の実施 ・「北海道立北の森づくり専門学院」と連携した地域の林業・木材産業を担う人材の育成・確保 ・介護や保育人材の定着支援 ・福祉介護職のイメージアップにかかる取組の推進 ・公共交通や物流を担う人材の確保を推進する取組の実施 ○　担い手確保に向けた移住・定住の促進及び関係人口の創出・拡大 ・移住・定住の促進に向けた情報の発信や地域の魅力ＰＲ ・地域おこし協力隊への取組支援 ・関係機関との連携による移住促進会議等の開催 ・ワーケーションの推進など関係人口の創出・拡大	国、道、市町村、民間、教育機関	【関連する主な基盤整備】 ○　公立学校施設の整備	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（4）
上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：上川地域　（1/1）

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興

【プロジェクトの概要】
多種多様な農畜産物が生産される上川地域の農業においては、低コスト・省力化に向けた取組を進めるとともに、良食味米をはじめとした高品質で安全・安心な農畜産物の生産を推進します。
また、全道で最も広い森林面積を擁しており、認証を取得した森林から産出される木材を、林業・木材産業関係者が連携しながら地域内で利用する取組を促進し、豊かな森林資源の循環利用を推進します。
こうした取組のほか、農畜林産物を利用した６次産業化や農商工連携による付加価値の向上に向けた取組を進めるとともに、森林づくりへの理解促進や環境保全型農業の推進など、ゼロカーボン北海道の実現に向けた取組を推進し、地域が有する豊かな資源を活かし上川地域の基幹産業である農林業の持続的な発展を図ります。

主な取組	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
○　農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進 ・地域の実情に応じた低コスト・省力化の推進 ・付加価値向上に向けた取組の推進 ・豊かで魅力ある農業・農村の確立 ○　適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進 ・地域の特性に応じた森林づくりの推進 ・地域の特色を活かした森林認証材の利用促進 ・道民や企業等との協働による森林づくり ○　「ゼロカーボン北海道」の実現に向け地域資源を活かした取組の推進 ・森林づくり・木材利用の理解促進 ・農業の脱炭素化に向けたクリーン農業・有機農業などの環境保全型農業の推進 ・脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルの転換に向けた普及啓発 ○　農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大 ・アンテナショップ等を活用したマーケティング支援 ・地場産品のブランド化とビジネスマッチング支援 ・食クラスター活動の推進	国、道、試験研究機関、大学、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　農畜産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備推進 ○　健全な森林の整備と保全の促進 ・森林及び路網の整備促進 ・山地災害を防ぐ治山施設の整備 ○　物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・高規格道路と一体となった道路の整備 ・空港、港湾などの物流拠点やＩＣへのアクセス道路の整備 ○　安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備 ○　自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（5）、2－（3）、4－（4）、5－（3）
るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：留萌地域　（1/2）

1　食関連プロジェクト／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興
2　観光関連プロジェクト／《地域のめざす姿》　2　多様な魅力あふれる観光の振興
4　離島関連プロジェクト／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興
5　社会基盤関連プロジェクト／《地域のめざす姿》　5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
留萌地域は、米、野菜、果物などのバラエティ豊かで高品質な農産物、甘エビ、タコ、カレイ、ヒラメ、シジミなどの多種多様な水産物などの「食」に恵まれているほか、道内都市部とのアクセスが良く、暑寒別岳や天売・焼尻島、日本海の夕陽、キャンプ場、海水浴場、オロロンライン・サイクルルートなど、優れた「自然」にも恵まれています。
これらの特徴を活かし、「食」の魅力を十分に活かしたブランド力の強化、付加価値の高い商品開発、戦略的なマーケティングを通じた国内外へのさらなる販路拡大を進めるほか、「自然」の魅力についてSNS等を通じて発信を行うことで、関係人口の創出・拡大を図るとともに、地域の産業振興により、持続可能な地域づくりにつなげていきます。

主な取組	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
○　地産地消や地域ブランドの創出に向けた取組の推進 ・生産者と消費者の結びつき強化 ・地産地消を通じた農水産物の高付加価値化 ・地域ブランドの創造などによる積極的な販路拡大の促進 ・「食」の魅力向上や情報発信力の強化 ○　広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進 ・体験型観光の推進 ・地域と連携した観光客の受入体制の整備・充実 ・各種イベントでのプロモーション ・情報発信力の強化 ○　るもいファンの拡大に向けた魅力の発信 ・若手職員のアイデアを活かした情報発信 ・地元企業等との連携 ・道内都市圏の大学との連携 ○　持続可能な農林水産業の推進 ・生産性・収益性の高い農業の推進 ・環境と調和した農業の展開 ・エゾシカ等の有害鳥獣による農業被害対策の推進 ・地域一体でのスマート農業の推進 ・「るもい“スマ農”ビギナーズガイド」の発行による導入支援 ・多様な担い手に向けた機械の実演 ・営農作業の省力化の推進 ・適切な管理に基づく森林整備の推進 ・地域材の利用推進	国、道、市町村、民間	・木育の推進 ・水産資源の適切な管理及び秩序ある利用 ・水産資源の生育環境の保全及び創造 ・海域の特性に応じた栽培漁業の推進 ・トド等の海獣による漁業被害対策の強化 ○　自然環境の持続的利用と保全、再生の促進 ・暑寒別天売焼尻国定公園の保護と適正な利用 ・環境保全活動の推進 ・海鳥の保護活動の推進 ・環境教育の推進 【関連する主な基盤整備】 ○　物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ・交通拠点や物流拠点などと主要地、主要施設を結ぶ道路の整備 ・高規格道路と一体となった道路の整備 ○　農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備 ○　農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ・農地や農業用施設の整備 ・海岸を侵食から守る施設の整備 ・河川改修など治水対策の推進 ○　水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港の機能向上などの整備・漁場の整備 ○　国際的な海上輸送拠点の整備・港湾の整備 ○　国内海上交通ネットワークの整備 ・港湾の整備	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（5）、2－（3)、4－（4）、5－（3）
るもいの「食」「自然」を活かした関係人口の創出・拡大プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：留萌地域　（2/2）

主な取組	主な実施主体	主な取組	主な実施主体
【関連する主な基盤整備】 ○　適切な森林の整備と保全の促進 ○　治山施設の整備 ○　自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・自然に配慮した河川・砂防施設などの整備 ・海岸保全施設の整備 ○　安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備			

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（6）、3－（8）、4－（5）
るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：留萌地域　（1/1）

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興
3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
留萌地域においては、全道を上回る急速な人口減少や少子高齢化の進行などにより、基幹産業である農林水産業や商工業の担い手だけではなく、様々な分野での人手不足が表面化してきており、地域における活力の低下が大きな課題となっています。
このような特徴を踏まえ、地域の特性に応じた労働力確保の仕組みづくりや移住・定住の促進、関係人口の創出など地域への人の流れの拡大に向けた取組を推進するとともに、デジタル技術を活用した担い手不足対策などにも取り組むことで、将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域づくりを進めていきます。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　地域の産業を支える働き手の育成・確保 ・農林水産業における多様な担い手育成・確保 ・教育機関と連携した地域づくりや未来を担う人材の育成 ・官民が一体となった働き手確保に向けた取組の推進 ○　地域おこし協力隊、外国人材など多様な人材の活用 ・地域おこし協力隊ネットワークとの連携 ・研修・交流会の開催 ・地域づくり関係者との連携 ・多文化共生の推進 ○　移住・定住の促進及びデジタル技術を活用した担い手不足対策 ・移住・定住促進のための情報発信 ・二地域居住の促進 ・ワーケーションの推進 ・デジタル技術の活用	国、道、市町村、民間		

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

1－（7）、4－（6）
力強い宗谷の１次産業推進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：宗谷地域　（1/1）

1　食関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　1　地域特性を活かした産業振興
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
宗谷地域の基幹産業である酪農業や水産業では、人口減少や高齢化の進行などにより担い手が不足するとともに、生産性向上に向けた取組や経営継続に必要な投資が十分に進んでいないこと、また、水産資源の減少などが課題となっています。
さらに、生産資材の高騰など経営環境の悪化に伴う離農の進行や、2023年のALPS処理水の海洋放出に伴う一部の国・地域の輸入規制強化の影響などが懸念される中、地域の特色を活かした強靱で持続可能な農林水産業の振興に取り組む必要があります。
こうしたことから、農業については、酪農を中心とした生乳生産維持・拡大のため、草地整備や牛舎等の施設整備・機械導入の推進、営農支援組織の充実による生産性の高い酪農経営の確立を図ります。
水産業については、海域の特性に応じた栽培漁業を推進することにより、生産の維持安定を図るとともに、グローバルリスクに対応した主力品目の販路開拓や国内消費の拡大に取り組みます。
また、林業については、トドマツ等の人工林が利用期を迎えており、これらの森林資源の循環利用に向け、ICT等の先進技術の活用による森林施業や原木の生産から流通などの効率化・省力化、需要に応じた高度な木材生産を可能とする「スマート林業」を確立し、低コスト化や木材利用の推進等を図ります。
基幹である一次産業を将来にわたって守り、育てるため、宗谷の酪農や漁業の魅力を広く道内外に発信し、担い手の確保を図るとともに、良質な地域食材を活かした商品開発や販路拡大への支援、食関連産業に携わる人材育成の取組などを通じて、一次産業の基盤強化を目指します。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　広大な草地資源を活かした強靱な宗谷酪農の推進 ・草地整備や牛舎等の施設整備・機械導入の推進 ・営農支援組織の充実による、飼料生産等の外部化や効率化の推進 ○　海域の特性に応じた持続可能な栽培漁業の推進 ・ホタテ・ニシンなど海域の特性に応じた種苗放流の実施 ・漁場機能回復の取組による藻場やウニ資源増大の推進 ・秋サケの資源安定化のための、稚魚の生産・放流体制の見直し ○　地域の特性に応じた森林資源の循環利用の推進 ・森林施業の低コスト化に向けた基盤整備等 ・間伐及び伐採後の再造林の着実な推進 ・地域で産出される木材の利用拡大 ○　基幹産業を支える担い手の確保・育成 ・多様な担い手の受入促進と育成システムの整備 ・女性や高齢者が活躍できる環境づくりの推進 ・新規漁業就業者の確保対策の推進 ・就業環境の改善や多様な研修の実施などによる森林づくり	国、道、市町村、民間	○　宗谷産農水産物の付加価値向上や消費拡大の推進 ・地域における食関連産業の強化を目的とした地域食マーケティング人材の育成 ・農水産物の高付加価値化を目的とした商品の開発や改良の促進 ・「食べて応援！」宗谷農産物の消費拡大や販路開拓に向けたプロモーションの展開 【関連する主な基盤整備】 ○　高規格道路の整備 ○　物流ネットワーク形成のための道路網の整備 ○　農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ○　農産物流通の合理化などのための農道の整備 ○　農地及び農業用施設の機能回復や災害を防止するための施設の整備 ○　水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ○　生活環境の向上など快適で住みよい農山漁村づくり ○　健全な森林の整備と保全の推進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

2－（1）、4－（1）
道北広域観光地域づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（1/3）

2　観光関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　2　多様な魅力あふれる観光の振興
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
観光立国を先導する世界トップクラスの観光地域づくりに向け、「世界市場に向けた新たな観光コンテンツの創出・拡充と稼ぐ力の向上」、「多様な旅行者の地方部への誘客に向けた安全・安心な受入環境整備」及び「自然環境の保全と観光が両立した持続可能な観光地域づくり」という基本的方向に沿って施策を展開します。

主な取組	実施主体
■世界市場に向けた新たな観光コンテンツの創出・拡充と稼ぐ力の向上	
○道北の資源・特性を活かした新たな観光コンテンツの創出・拡充	
➤景観に配慮した道路整備の推進	国、道、市町村
➤食のブランド力向上のための、農漁村環境・景観に配慮した生産基盤整備の推進	〃
・国営緊急農地再編整備事業（愛別地区、大雪東川第一地区、旭東東神楽地区、大雪東川第二地区、旭東地区）の推進	
・国営かんがい排水事業（共栄近文二期地区）の推進	
・国営施設応急対策事業（鳥沼宇文地区）の推進	
・直轄明渠排水事業（風連多寄地区）の推進	
・国営農地再編整備事業（東宗谷地区）（R6年度完了~~予定~~）~~の推進~~	
・国営総合農地防災事業（産士地区、勇知地区、幌延地区）の推進	
➤まちづくりと一体となった 魅力ある水辺空間の創出及び「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間
➤世界的に価値ある自然資源としてのサロベツ原野の保全、再生	〃
➤北海道遺産である天塩川における環境整備の推進	〃
・天塩川下流自然再生事業の推進	
○観光消費額・観光消費額単価の向上に資する高付加価値な観光の推進及び新たな観光スタイルの受入環境整備	
➤移動を含めて楽しむドライブ観光やサイクルツーリズム、河川空間やインフラを活用したツーリズム、自然体験等を含むアドベンチャートラベル等、地域資源を活用した観光振興に向けた環境の創出	国、道、市町村、民間
・サイクルツーリズム（きた北海道、石狩川流域圏、富良野・占冠、オロロンルート）に関する取組【官民共創の取組】	
■多様な旅行者の地方部への誘客に向けた安全・安心な受入環境整備	
○ゲートウェイ機能の強化と地方部への交通アクセスの改善	
➤観光地へのアクセスや観光地間の周遊の利便性向上のためのゲートウェイ（空港、港湾）機能、ネットワーク（高規格道路網等）機能の強化や整備	国、道、市町村
・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進	
・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進	
・国道40号音威子府バイパスの推進（R7年度開通予定）	
・概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）（北海道縦貫自動車道（中川～天塩）、旭川十勝道路(上富良野～中富良野)）	
・国道452号五稜道路の推進	
・国道40号天塩防災の推進	
・国道232号小平防災の推進	
・国道239号霧立防災の推進	
・国道238号浜猿防災の推進（R6.12.3 部分開通済）	
・国道40号稚内港電線共同溝の推進	
・国道238号幌別橋架替の推進	
・観光地へのアクセス向上に資する航路の整備の推進（留萌港）	
・北防波堤ドーム予防保全事業の推進(稚内港)	
・船舶の安全航行を確保し、ゲートウェイ機能を強化する防波堤等の整備の推進（沓形港・香深港）	
○多様な旅行者が安全・安心に旅行できる環境の創出	
➤広域観光周遊ルート形成に向けた観光地点間の連携強化と外国人観光客の文化習慣に配慮した受入環境や観光案内の充実	国、道、市町村、民間
➤河川空間の利用者に配慮した河川整備の推進	国、道、市町村
➤無電柱化【官民共創の取組】、交通安全対策の推進	〃
➤外国人客の更なる増加に向けたインフラ整備	〃

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

２－（１）、４－（１）
道北広域観光地域づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（２/３）

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
■自然環境・文化の保全と観光が両立した持続可能な観光地域づくり ○多様な主体との連携による地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりの推進 ➢シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進【官民共創の取組】 ➢地域の価値創造力を高める多様な人材の広域的・横断的な支援・協働体制として、地域パートナーシップ活動を展開 ➢水産業と観光の連携など水産業を核とした地域振興方針であるマリンビジョンの推進【官民共創の取組】 ➢地域住民とともに、みなとを活用した交流拠点を形成し、地域の賑わい創出を図る北海道みなとオアシスの促進【官民共創の取組】 ➢地域の景観、交流など地域住民主体の地域活性化活動を支援する「わが村は美しく－北海道」の推進【官民共創の取組】 ➢まちづくりと一体となったかわまちづくりの取組【官民共創の取組】 ・天塩かわまちづくり ・名寄川地区かわまちづくり ・旭川駅周辺かわまちづくり ・南富良野町かわまちづくり（札幌開発建設部・Ｒ１０完成予定） 【官民共創の取組】 ・「かわたびほっかいどう」プロジェクトの推進 取組内容：地域と連携し、魅力的な水辺空間の創出、水辺利活用を促進し、北海道らしい地域づくり・観光振興に貢献する「かわたびほっかいどう」を推進 推進体制：国、市町村、民間 ・サイクルツーリズムに関する取組（きた北海道、石狩川流域圏、富良野・占冠、オロロンルート） 取組内容：自転車の走行環境、受入環境の改善・充実を図るための方策や、サイクリストも参画した効果的な情報発信に取り組む 推進体制：協議会（国、道、市町村、民間）	国、道、市町村、民間 〃 〃 〃 〃 〃	・無電柱化の推進（留萌市、稚内市、富良野市、増毛町、浜頓別町） 取組内容：無電柱化により道路の防災性の向上、通行空間の安全性・快適性確保、良好な景観形成を推進 推進体制：道路管理者、電線管理者、市町村 ・シーニックバイウェイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進（大雪・富良野ルート、天塩川シーニックバイウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート） 取組内容：景観をはじめとした地域資源の保全・改善の取組、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを推進 推進体制：ルート運営代表者会議（民間活動団体）、ルート運営行政連絡会議（国、道、市町村） ・北海道マリンビジョンの推進（苫前地域、遠別地域、抜海地域、東浦地域、利尻地域、礼文地域） 取組内容：「地域マリンビジョン」に基づく、衛生管理強化、ブランド化の推進、水産物の安定供給、食育、オーナー制度、観光との連携等 推進体制：地域協議会（市町村、民間）国 ・みなとオアシスの促進（るもい、わっかない、りしりとう・おしどまり、りしりとう・くつがた、れぶん） 取組内容：地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進 推進体制：設置者（市町村、民間）、国 ・「わが村は美しく－北海道」運動の推進 取組内容：住民主体の地域活性化活動支援、食育等の地域活動の展開や農山漁村に対する理解醸成 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

2－（1）、4－（1）
道北広域観光地域づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（3/3）

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
【官民共創の取組】 ・「かわまちづくり」の推進（天塩町、名寄川地区、旭川駅周辺、南富良野町） 取組内容：「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かした地域の賑わい創出 推進体制：協議会等（市町村、民間）、国、道 ・「地域共創インフラツアー」の推進 取組内容：「インフラが支えた地域発展の歴史」を柱に、地域の「歴史、産業、文化、食」といった様々な要素を取り入れ、関係機関と連携してツアーを実施 推進体制：国、道、市町村、施設管理者等、旅行業者 ・留萌地域ツーリズム勉強会の取組 取組内容：地域における観光地域づくりを担う人材の育成 推進体制：留萌地域ツーリズム勉強会(学識者、国、道、市町村、民間) ・ダム監査廊等を活用した日本酒貯蔵（大雪ダム、留萌ダム） 取組内容：ダム施設内での日本酒の貯蔵熟成による価値向上 推進体制：国、道、酒蔵会社 ・宗谷管内の「官民連携プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図ることを目的として、多様な施策の実施主体による官民連携のプラットフォームを構築する。 ①：宗谷管内の民間人を主体とした会議において意見交換を行い、取り組むべき年間のテーマを検討する。 ②：会議の検討結果等について、宗谷総合振興局及び管内自治体に情報共有し、宗谷地域づくり連携会議において、テーマについて意見交換を行う。 ③：上記①及び②の意見交換の結果を基に、シンポジウムを開催する。 推進体制：国、道、市町村、民間		・「十勝岳インフラジオツーリズム」の推進 取組内容：インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに選定された「白金青い池と十勝岳火山砂防情報センター」の取組を基礎として、関係機関と連携して持続可能な観光地域づくりを推進 推進体制：国、道、市町村、十勝岳ジオパーク、観光協会 ・道北地域づくりアクションプランの推進（上川管内） 取組内容：令和６年度に開催した道北地域づくりワークショップにて作成されたアクションプランの実行 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

Ⅲ 地域重点プロジェクト

２－（２）、４－（３）、５－（４）
魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：道北連携地域　（1/1）

２　観光関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　２　多様な魅力あふれる観光の振興
４　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　４　離島地域の振興
５　社会基盤関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　５　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとした特色ある自然、高品質ブランド米や多種多様な野菜、果樹、豊富な海産物や乳製品などの食、歴史や写真、絵本などの芸術文化等を活かして地域の魅力を発信し、広域周遊や体験・滞在型観光等を推進するほか、スポーツ・音楽の合宿誘致などを通じて、道北地域への来訪促進を図ります。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信 ・特色ある自然や地域特有の歴史・風土、芸術文化に関する国内外への情報発信 ・自然や芸術文化等をテーマとしたイベントの実施や国内外との交流の推進 ・自然環境・歴史文化の保全や芸術文化の振興 ○　交通ネットワークの維持・拡充及び利便性の向上 ・バスや鉄道など地域公共交通の利用促進に向けた取組の推進 ・離島路線を含む航空路線維持・拡大に向けた取組の推進 ・空港の機能強化に向けた取組の推進 ・戦略的な空港間連携に向けた取組の推進 ○　「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進 ・「食」の魅力を活かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等の連携促進 ・道北地域の「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興 ○　広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進 ・体験観光メニューの開発や受入体制の整備等による観光地づくり ・地域間の連携による広域周遊観光の推進 ・３振興局の共同プロモーション及び情報発信による誘客促進 ○　離島交流の推進 ・離島ならではの滞在型観光の推進 ・離島の活性化に向けた交流促進	国、道、市町村、民間	○　地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致 ・スポーツ及び音楽の活動推進・合宿誘致 ・情報の発信 ・受入体制の整備推進 【関連する主な基盤整備】 ○　高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○　安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備 ・航空機の安定運行確保など、空港機能維持のための施設整備 ○　都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備 ・都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状・放射道路などの整備 ・渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

2－（4）、3－（9）、4－（7）
自然の恵みを享受　宗谷共生プロジェクト／推進主体：道　■推進エリア：宗谷地域　（1/1）

2　観光関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　2　多様な魅力あふれる観光の振興
3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
宗谷地域は、「利尻礼文サロベツ国立公園」、「北オホーツク道立自然公園」の２つの自然公園があり、ラムサール条約湿地として、クッチャロ湖、サロベツ原野が登録されるなど、魅力ある自然環境を有するとともに、広大な草地や日本海とオホーツク海の恵み、地域内の７割を占める森林などを活かした１次産業が展開されています。
また、管内は風況の良さを活かした風力発電をはじめ、新エネルギーの導入が進められるなど、ゼロカーボン北海道の実現に貢献できる潜在力を有する地域であるとともに、2023年にはATWS北海道・日本のポストサミット・アドベンチャーが北宗谷地域で開催されるなど、その自然景観は観光資源として国内外から高く注目を集めています。
一方で、エゾシカやトド・アザラシといった野生鳥獣・海獣による深刻な農林水産被害や高山植物の盗掘、開発やオーバーツーリズムに伴う環境への負荷などが課題とされており、豊かな自然の恵みを享受し、地域の持続的な発展につなげるためには、野生鳥獣・海獣の個体数の適正な管理に努めるとともに、「植えて育てて、伐って使って、また植える」森林資源の循環利用を推進するほか、自然を慈しむ心を育み、環境配慮行動を促進するといった取組など、自然と共生した地域づくりを進める必要があります。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　「ゼロカーボン北海道」の推進 ・自然の恵みを活かした新エネ等の導入促進 ・地域が一体となった脱炭素化・循環型社会の構築に向けた取組の実践 ・エネルギーの地産地消 ○　自然の魅力を活かしたアドベンチャートラベルの推進 ・多様な自然・アクティビティの魅力の発信 ・旅行者の環境配慮行動の促進など、サステナブルツーリズムの実践 ○　自然・環境に配慮した地域づくり ・人と自然との共生を目指した協議会への参加など自然再生の取組 ・高山植物の保護等を通じた自然環境の保全に向けた取組 ・自然公園の利用を通じた自然環境の理解を深める取組 ・地域の特性に応じた森林の整備及び保全の推進 ・道民の協働による森林づくりの推進 ○　野生鳥獣・海獣による被害防止対策の推進 ・エゾシカやヒグマ等野生鳥獣の生息・被害に関する状況の把握及び野生鳥獣対策協議会などによる情報共有 ・トドやアザラシ等海獣類による、漁業被害防止対策の充実強化	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　健全な森林の整備と保全の促進 ○　治山施設の整備 ○　自然豊かな水辺環境の整備・保全 ○　自然公園における利用施設の整備など自然とのふれあいの場づくり	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（1）
ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（1/2）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

【プロジェクトの概要】
地球温暖化対策を先導するゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成に向け、「道北の地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の形成」及び「道北の特性を活かした自然共生社会の形成」という基本的方向に沿って施策を展開します。

主な取組	実施主体
■道北の地域特性を活かした持続可能な脱炭素社会の形成	
○再生可能エネルギーの導入拡大	
➤再生可能エネルギーの導入や地域分散型エネルギーシステムの導入の促進	国、道、市町村、民間
・ＭＩＺＢＥステーションへの太陽光発電設備の設置（札幌開発建部・幾寅地区）	
・農業用水を用いた小水力発電（当麻永山用水地区）の実施	
○徹底した省エネルギーとエネルギー転換	
➤交通・物流円滑化等の環境負荷軽減に資するインフラ整備	国、道、市町村
・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進	
・国道40号音威子府バイパスの推進（R7年度開通予定）	
・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進	
・概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）（北海道縦貫自動車道（中川～天塩）、旭川十勝道路(上富良野～中富良野)）	
○CO２吸収力の発揮	
➤公共事業におけるブルーカーボン生態系創出【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間
・島防波堤背後に藻場造成フィールドを創出（雄冬漁港）	
■道北の特性を活かした自然共生社会の形成	
○官民一体となったグリーンインフラの取組の推進	
➤河川・ダム湖等の水辺周辺の緑の保全を図るとともに、多様な生物種の生息・生育環境の確保を図る多自然川づくりの推進	国、道、市町村、民間
・魚類等の生息・産卵環境の復元に配慮した河床洗掘対策（石狩川上流南永山地区）の推進	
・水際の多様化に配慮した河道掘削と河岸保護（石狩川上流辺別川地区、天塩川上流美深地区）の推進	
・サンルダムにおけるダム湖周辺環境保全の推進	
・魚類等の生息環境の保全・改善、魚類の移動の連続性確保	
➤まちづくりと一体となったかわまちづくりの取組【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間
・天塩かわまちづくり	
・名寄川地区かわまちづくり	
・旭川駅周辺かわまちづくり	
・南富良野町かわまちづくり（札幌開発建設部・Ｒ１０完成予定）	
➤河川を身近な自然体験の場として活用するため、良好な水辺環境を整備します。	〃
➤多様な動植物の生息環境を確保するため、汽水環境の再生を推進	国、道、市町村
➤北海道遺産である天塩川における魚類の移動の連続性確保	国、道
・魚類等の移動の連続性確保及び生息環境の保全・創出に向けた調査・検討の推進（天塩川流域）	
・魚類等の移動の連続性及び生息環境の保全の推進（天塩川下流）	
➤天塩川における下流汽水域の環境保全整備、旧川（河川改修等により水が流れていない昔の河道）の環境整備【官民共創の取組】	国
・汽水域等の環境整備の推進（天塩川下流）	
➤農業とサロベツ湿原の共生に、農地緩衝区域や沈砂池を設置（幌延地区）	国、市町村
○生物多様性の保全	
➤水生生物の生息環境に配慮した構造の防波堤などの整備を図る。	国
➤農業用排水路において、保全対象生物への影響に配慮した護岸形式による整備	〃
・国営総合農地防災事業（産士地区、幌延地区）の推進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（1）
ゼロカーボン北海道の実現及び自然共生社会・循環型社会の形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（2/2）

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
■資源を最大限に利活用する循環型社会の形成 ○廃棄物等の有効利用 ➢建設発生土等の有効利用の促進及び普及啓発 ・資源バンク「土砂バンク」「刈草バンク」、「木材バンク」の活用 ➢建設副産物における付加価値の高い再生材へのリサイクルの促進など建設リサイクルの「質」の向上 ・建設リサイクル推進計画2020～「質」を重視するリサイクルへ～の推進 【官民共創の取組】 ・「かわまちづくり」の推進（天塩町、名寄川地区、旭川駅周辺、南富良野町） 取組内容：「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間を形成し、河川空間を活かした地域の賑わい創出 推進体制：協議会等（市町村、民間）、国、道 ・天塩川における下流汽水域の環境保全 取組内容：汽水性底生生物が生息生育できる多様な汽水環境の回復、観光や漁業など河川を利活用する地域産業の発展、河川利用と河川環境との共存・共生 推進体制：有識者、地元住民、漁業関係者、行政機関 ・ブルーカーボン生態系の創出（増毛港、雄冬漁港） 取組内容：防波堤等の整備にあたり、藻場を創出することにより、CO2の吸収源としての効果を発揮 推進体制：港湾管理者、漁港管理者、海岸施設管理者、民間、漁業関係者 ・宗谷管内ブルーカーホン情報共有のための「プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の水産業における「ブルーカーホン」に関する構想 ・取組の情報共有及び意見交換・勉強会・セミナーを通じて「共創」発掘の場とするプラットフォーム構築を目指す。 推進体制：国、道、市町村、民間	国、道、市町村、民間 〃	・道北地域づくりアクションプランの推進（上川管内） 取組内容：令和６年度に開催した道北地域づくりワークショップにて作成されたアクションプランの実行 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（2）、5－（2）
生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（1/2）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
5　社会基盤関連プロジェクト／《地域のめざす姿》　5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりに向け、「気候変動に伴い激甚化する水災害に対する道北の地域特性を踏まえた流域治水の推進」、「大規模災害に対する生産・社会基盤の強靭化」及び「冬期災害や複合災害に対する防災力の強化」という基本的方向に沿って施策を展開します。

主な取組	実施主体
■気候変動に伴い激甚化する水災害に対する道北の地域特性を踏まえた流域治水の推進	
○堤防、ダム等の整備	
➤近年被災した石狩川・留萌川及び天塩川における再度災害を防止する対策等の推進	国、道、市町村
➤水害等から人命と財産を守る河川改修、ダム等の整備促進	国、道
・石狩川上流での河川改修の推進（河道掘削・樹木伐採、堤防整備、河床低下対策等）	
・天塩川上流での改修の推進（河道掘削・樹木伐採、堤防整備等）	
・天塩川下流での河川改修の推進（河道掘削、樹木伐採、堤防整備）	
・留萌川での河川改修の推進（河道掘削、導流堤改築）	
・空知川の堤防整備、河道掘削（札幌開発建設部）	
・雨竜川の堤防整備、河道掘削（札幌開発建設部）	
・雨竜川ダム再生事業（札幌開発建設部・Ｒ１５完成予定）	
➤災害時における水防活動や災害復旧のための拠点の整備	〃
➤農業用ダムや頭首工改修等による農地の洪水災害の未然防止	国
○砂防施設、治山施設等の整備	
➤土石流から下流域の安全度を向上させるための砂防事業の推進	〃
・水系砂防事業の推進（層雲峡小学校の沢遊砂地工、白川砂防堰堤）	
○住まい方の工夫等を含む水害、土砂災害、高潮等に対するハード・ソフト一体となった事前防災対策	
➤「水防災意識社会　再構築ビジョン」に基づく取組の推進	国、道、市町村
➤流域のあらゆる関係者が協働して行う「流域治水プロジェクト2.0」の推進【官民共創の取組】	国、道、市町村、民間
■大規模災害に対する生産・社会基盤の強靭化	
○地震、津波、火山噴火等の大規模災害に備えた各種インフラ施設等の整備及び耐災害性強化	

主な取組	実施主体
➤十勝岳の火山泥流対策として、砂防施設の整備促進	国
・火山砂防事業の推進（美瑛川床固工群、美瑛川第２号堰堤改築、尻無沢川第３号堰堤改築）	
➤法面対策、耐震補強、豪雨対策、越波対策、予防保全事業等による安全快適な道づくりの推進	国、道、市町村
➤船舶を波浪から守る防波堤などの外郭施設の整備	国
・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港、羽幌港、天塩港、枝幸港、鴛泊港、沓形港、香深港）	
・漁船航行の安全性向上のための防波堤整備の推進(遠別漁港)	
・防波堤の整備推進（礼文西漁港）	
○道路の広域ネットワークの強靭化	
➤道路の防災、老朽化対策、無電柱化【官民共創の取組】、代替性確保のための道路ネットワーク整備の推進	国、道、市町村
・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進	
・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進	
・国道40号音威子府バイパスの推進（R7年度開通予定）	
・概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）（北海道縦貫自動車道（中川～天塩）、旭川十勝道路(上富良野～中富良野)）	
・国道39号比布大橋架替の推進	
・国道237号湯の沢橋架替の推進	
・国道40号天塩防災の推進	
・国道232号小平防災の推進	
・国道239号霧立防災の推進	
・国道238号浜猿防災の推進（R6.12.3 部分開通済）	
・国道38号富良野電線共同溝の推進	
・国道40号稚内港電線共同溝の推進	
・国道238号幌別橋架替の推進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（2）、5－（2）
生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靭な国土づくりプロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（2/2）

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○関係機関が連携した防災教育、防災訓練等の防災対応力の充実・強化 ➤迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化 ➤空知川幾寅地区における水位周知河川等への指定、浸水想定区域図の公表、避難勧告等発令に着目したタイムラインの作成など、住民避難を促すためのソフト対策を推進 ➤ハザードマップ作成･普及支援や講習会実施等地方公共団体の防災力向上推進 ➤防災教育・指導者養成支援や防災訓練実施等地域との協働による減災・防災対策の取組 ➤十勝岳の観測監視体制の充実 ➤十勝岳周辺地域の防災意識向上方策の推進（防災学習教室・施設見学会の開催）【官民共創の取組】 ➤十勝岳火山噴火緊急減災対策砂防計画策定 ➤十勝岳火山減災行動ワーキンググループの開催 ➤防災関係機関が連携した災害対策を支援するための防災情報共有化推進 ➤「道の駅」の防災機能強化の推進 ○ＴＥＣ－ＦＯＲＣＥ等による技術的な支援 ➤現地情報連絡員（リエゾン）、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）、農林水産省サポート・アドバイス・チーム（MAFF-SAT)等の派遣、除雪機械や災害対策用資機材の貸与等、きめ細やかな地域支援やバックアップ体制の強化 ■冬期災害や複合災害に対する防災力の強化 ○幹線道路等の持続可能な除排雪等の推進 ➤冬期間の猛烈な地吹雪などによる通行止め解消や交通事故防止のため、効率的な除排雪の実施や、雪崩防止施設、防雪林等の整備 ➤冬期間における稚内空港の信頼性向上に資する就航率改善対策 【官民共創の取組】 ・流域治水プロジェクト2.0の推進 取組内容：集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進 推進体制：流域治水協議会｛国、道、市町村)、民間	国、道、市町村 〃 〃 国、道、市町村、民間 国 国、道 〃 〃 国、道、市町村 国 国 国、道、市町村 国	・無電柱化の推進（留萌市、稚内市、富良野市、増毛町、浜頓別町） 取組内容：無電柱化により道路の防災性の向上、通行空間の安全性・快適性確保、良好な景観形成を推進 推進体制：道路管理者、電線管理者、市町村 ・「十勝岳インフラジオツーリズム」の推進 取組内容：インフラツーリズム魅力倍増プロジェクトに選定された「白金青い池と十勝岳火山砂防情報センター」の取組を基礎として、関係機関と連携して持続可能な観光地域づくりを推進 推進体制：国、道、市町村、十勝岳ジオパーク、観光協会 ・地域FM局との非常放送に関する協定（留萌管内・宗谷管内） 取組内容：災害緊急事態等における地域住民及び道路利用者への情報提供 推進体制：国、コミュニティFM局 ・宗谷管内の「官民連携プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図ることを目的として、多様な施策の実施主体による官民連携のプラットフォームを構築する。 ①：宗谷管内の民間人を主体とした会議において意見交換を行い、取り組むべき年間のテーマを検討する。 ②：会議の検討結果等について、宗谷総合振興局及び管内自治体に情報共有し、宗谷地域づくり連携会議において、テーマについて意見交換を行う。 ③：上記①及び②の意見交換の結果を基に、シンポジウムを開催する。 推進体制：国、道、市町村、民間 ・道北地域づくりアクションプランの推進（上川管内） 取組内容：令和６年度に開催した道北地域づくりワークショップにて作成されたアクションプランの実行 推進体制：国、道、市町村、民間	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（3）、4－（8）、5－（5）
安全・安心な地域づくりプロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：道北連携地域　（1/1）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興
5　社会基盤関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
少子高齢化が進むなか、広大で離島も有する道北地域において、心身ともにすこやかで活力ある生活を送るためには、病気の予防・生活習慣の改善など自らの健康の保持・増進が重要であるとともに、地方・地域センター病院を中心に地域における医療機関が機能分担と連携を図り、地域に必要な医療体制を確保し、救急医療体制を充実させることが求められています。
また、安心して子どもを生み育て、高齢者を含めた誰もが住み慣れた街で元気に暮らせる地域づくりが必要とされています。
こうしたことから、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域の連携による医療体制の確保や地域包括ケアシステムの推進を図るとともに、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めます。
また、近年の激甚化する自然災害等への備えとして、市町村や防災関係機関などとの連携強化を目的とした実践的な防災訓練をはじめ、１日防災学校のサポートや自主防災組織率向上に向けた取組、災害時要配慮者に関する啓発活動など、地域住民が安心して暮らせるよう、自助・共助・公助のあらゆる面から防災・減災の取組を進めていきます。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　全ての世代が安心して暮らせる環境づくり ・医療連携や救急医療体制の充実 ・医療と介護の連携の推進 ・地域医療従事者等の養成・確保 ・子どもを生み育てることができる環境づくりの推進 ・高齢者が住み慣れた街で元気に暮らせる社会の形成 ○　災害(地震、津波、大雨、火山等)に対する防災体制の強化等 ・自主防災組織活動カバー率向上への取組 ・防災関係機関との連携強化 【関連する主な基盤整備】 ○　高規格道路の整備 ・高規格道路の整備促進 ○　安全で安心な道路環境の整備 ・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進 ・地域医療を支える交通ネットワークの整備	国、道、市町村、民間	○　冬期における安全で快適な道路交通の確保 ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための歩道の整備 ・地吹雪・雪崩対策など冬に強い道路施設の整備 ○　災害に備えた安全な道路環境の整備 ・避難路や緊急輸送道路、危険箇所の防災対策及び無電柱化などの整備 ・社会の重要なインフラを維持するため、道路橋などの修繕 ○　洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備 ・火山砂防施設や、土砂災害対策施設の整備 ・総合的な治水・利水対策の推進 ・火山噴火緊急減災対策砂防の推進 ・海岸の高潮・浸食・津波対策施設などの整備 ・社会の重要なインフラを維持するため、河川・砂防・漁港施設などの修繕	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（4）、4－（9）
新エネルギー導入・活用推進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：道北連携地域　（1/1）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興

【プロジェクトの概要】
道北地域には、風力、太陽光やバイオマス、中小水力、地熱のほか、積雪寒冷な気候を活かした雪氷冷熱など、多様な新エネルギー資源が豊富に存在しています。留萌、宗谷地域では、恵まれた風況を活かした風力発電施設の建設が継続して進められているほか、地域の特色ある取組として、稚内市ではメガソーラー発電施設の電力活用を視野に地域エネルギー会社が設立されるとともに、豊富町の未利用天然ガスを活用した水素サプライチェーンを構築するプロジェクト、上川町の地熱発電計画、上川管内各地の木質バイオマスエネルギーを活用した取組など、ゼロカーボン北海道の実現を目指し、地域エネルギーの地産地消が進められています。
しかし、新エネルギーの導入、活用を加速化させるには、採算性や法規制のほか、環境との調和や地域社会の理解・協力、送電網の容量など、解決しなければならない課題も多くあります。
こうしたことから、連携地域を構成する上川、留萌、宗谷の各地域における新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギーなどについて、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図ります。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　地域が連携した新エネルギー導入促進の取組 ・政策課題の発掘・整理や情報の共有 ・新エネルギーの周知・ＰＲ ○　自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組 ・風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進 ○　木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進 ・地域関係者が連携した木質バイオマス安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの発生情報の発信 ・木質バイオマスのエネルギー利用に対する支援 ○　地熱発電の導入に向けた取組支援 ・法規制等の課題解決に向けた関係機関への働きかけ ・地域の合意形成の推進 ○　農村地域における新エネルギーの導入・利用拡大の推進 ・農村地域におけるバイオマス利用拡大	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備促進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III　地域重点プロジェクト

3－（6）
自然と共生する上川地域づくりプロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：上川地域　（1/1）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

【プロジェクトの概要】
大雪山国立公園や天塩岳道立自然公園など上川地域が誇る優れた自然環境を貴重な資産として後世につなげるため、関係機関・民間団体と連携して自然環境を保全しながら適正利用を図る取組を推進するとともに、生物多様性の恵みを将来にわたって受けるため、エゾシカやヒグマ等野生生物の保護管理を推進するなど、自然と共生する地域づくりを進めていきます。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　魅力的な自然環境の保全・適正利用の推進 ・自然保護監視員等関係者による大雪山、天塩岳等自然公園等のパトロールの実施 ・官民協働型の自然公園施設維持管理やIT技術を活用した管理の検討 ・大雪山の魅力、利用ルール、管理の課題等を伝えるための情報発信 ・自然観察会の開催　等 ○　野生生物の保護管理の推進 ・エゾシカの捕獲による個体数管理 ・ヒグマによる人身被害防止、人里への出没抑制 ・鳥獣による農林業被害防止 ・野生鳥獣捕獲の担い手確保 ・外来種防除の推進、普及啓発　等	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　自然豊かな水辺環境の整備・保全 ・河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 ・良好な水辺環境の保全・創出を推進 ○　高規格道路の整備 ○　安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ・観光拠点へのアクセス道路の整備	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（7）
ポテンシャルを活かした「ゼロカーボンるもい」推進プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：留萌地域　（1/1）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり

【プロジェクトの概要】
留萌地域は、日本海からの強風や、管内の全市町村が海に面していること、総面積の８３パーセントを森林が占めることなど、再生可能エネルギー等の高いポテンシャルを有しています。
こうした高いポテンシャルを活かし、藻場の造成などのブルーカーボン、中山間地域特有のスマート農業、木質バイオマスなどの森林資源の活用、風力発電などの再生可能エネルギーの活用、環境に配慮した循環型社会の実現に向けた取組など、「ゼロカーボンるもい」の推進を行うとともに、こうした取組を通じて、管内の基幹産業である１次産業の振興や新たな産業創出につなげていきます。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　再生可能エネルギー導入の推進 ・地域のポテンシャルを活かした導入促進 ・導入に関するニーズや課題の掘り起こし・サポート ・地域における理解促進や機運醸成 ○　ブルーカーボンの取組推進による水産業振興 ・地域における理解促進や情報共有 ・漁業者・地域住民等への啓発活動 ・地域の特性、環境に応じた藻場等の造成・保全 ○「るもい式スマート農業」の推進による農業振興 ・地域一体でのスマート農業の推進 ・「るもい“スマ農”ビギナーズガイド」の発行による導入支援 ・多様な担い手に向けた機械の実演 ・営農作業の省力化の推進 ○　森林資源の循環利用・木育の推進 ・適切な管理に基づく森林整備の推進 ・地域材の利用推進 ・木育の推進 ○　循環型社会の推進 ・各市町村及び教育機関との連携 ・ゼロカーボンるもいの実現に向けた機運の醸成 ・プラスチックごみ対策の推進	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備 ○　農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備 ・農業生産基盤の整備 ○　水産物供給基地としての漁港・漁場づくり ・漁港の機能向上などの整備・漁場の整備 ○　適切な森林の整備と保全の促進	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

3－（10）、4－（10）、5－（6）
多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト　／推進主体：道　■推進エリア：宗谷地域　（1/1）

3　環境・地域づくり・暮らし関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　3　豊かな自然環境との調和と、安全・安心な地域づくり
4　離島関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　4　離島地域の振興
5　社会基盤関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
宗谷管内は、少子高齢化の進行とともに、進学や就職を契機とした若年層の都市部への流出など、人口減少が依然続いており、地域経済の縮小や、酪農や漁業、観光業といった基幹産業の担い手不足は深刻さを増しています。
一方で、近年、アジア諸国からの技能実習生をはじめとした外国人材や、都市部から志を持って当地に移り住み、地域協力活動を行う地域おこし協力隊などが、担い手として台頭しており、地域における活力維持の一翼を担うものと期待されています。
雄大な自然や豊かな食、新エネルギーの宝庫である宗谷地域が持続的に発展するためには、多様な主体が手を携え、住民ひとり一人が地域に誇りや愛着を持ちながら、宗谷の創生に一丸となって取り組んでいくことが重要です。
このことから、喫緊の課題である人材確保対策はもとより、次代を担う子ども達のシビックプライドの醸成、移住者の定着支援や多文化共生に向けた環境整備など、全ての住民が共に暮らし、支え合う地域社会の実現を目指します。
さらに、ふるさと納税や国際交流などを通じた地域との繋がり、いわゆる関係人口の創出・拡大を図るなど、地域の活性化に向けた取組の裾野を拡大します。
なお、地理的・歴史的な背景から長きにわたって友好親善、経済交流を積み重ねてきたロシア・サハリン州との交流に関しては、引き続き国際情勢を注視しつつ、地域の皆様とともに、今後の展開を検討してまいります。

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
○　人材確保対策の強化 ・人材不足解消に向けた分野横断的な取組の実施 ・地域が連携した基幹産業の担い手対策の実施(再掲) ○　子どもたちのシビックプライドの醸成 ・将来的な定住・Uターンを見据えた地域の「しごと」や「魅力」の理解促進 ・地域社会の一員として、「地域を共に守る、大切にする」気持ちの醸成 ○　多様な人材との連携・共生のまちづくり ・地域おこし協力隊の受入促進、地域への定着支援 ・外国人にも暮らしやすい多文化共生の実現に向けた環境整備 ○　関係人口の創出・拡大 ・ふるさと納税の適正運用及び制度を活用した地域の魅力発信 ・よそ者による「気づき」や地域への活力導入など、外部人材の受入促進 ・地方創生に係る取組の裾野拡大に向けた国際交流や自治体間交流の推進	国、道、市町村、民間	【関連する主な基盤整備】 ○　安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備 ○　高規格道路の整備 ○　物流ネットワーク形成のための道路網の整備	

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

5－（1）
北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（1/2）

5　社会基盤関連プロジェクト　／《地域のめざす姿》　5　生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

【プロジェクトの概要】
北海道型地域構造を支え、世界を見据えた人流・物流ネットワークの形成に向け、「広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成」及び「産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化」という基本的方向に沿って施策を展開します。

主な取組	実施主体
■広域分散型社会を支える交通ネットワークの形成 ○ミッシングリンクの早期解消等のいまだ接続されていない都市間や地方部を接続する高規格道路等の交通ネットワーク整備 ➤道央地域、旭川及び他の地域とのアクセス強化を図るため、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進 ・北海道縦貫自動車道（士別剣淵～名寄）の推進 ・国道40号音威子府バイパスの推進（R7年度開通予定） ・旭川十勝道路（富良野北道路）の推進 ・概略ルート・構造の検討（計画段階評価を進めるための調査）（北海道縦貫自動車道（中川～天塩）、旭川十勝道路(上富良野～中富良野)）	国、道、市町村
➤救急医療機関へのアクセス時間を短縮する道路整備を推進	〃
➤地域の多様な主体が連携・協働した「共創」を推進するため、交流拠点である港湾や空港の整備を推進	国、市町村
➤渋滞解消に向けた道路整備など、都心部へのアクセスの改善を推進	国、道、市町村
■産業を支える物流基盤の整備と物流システムの維持・効率化 ○農水産物等の輸送を支える道路の整備 ➤港湾、空港や物流拠点・生産拠点へのアクセスを強化 ・国道452号五稜道路の推進 ・国道40号天塩防災の推進 ・国道232号小平防災の推進 ・国道239号霧立防災の推進 ・国道238号浜猿防災の推進（R6.12.3 部分開通済）	〃
○輸出入・移出入の拠点となる港湾施設の整備 ➤地域の産業や生活を支えるため、港湾の物流機能の強化、効率化を推進 ・港湾物流の効率化及び安全性向上のための防波堤等の整備の推進（留萌港、増毛港、天塩港） ・小型船だまり整備の推進（羽幌港） ・港湾物流の円滑化、港内静穏渡の確保等、港湾の効率的な利用を図るための物揚場、岸壁、防波堤等の整備の推進（宗谷港、枝幸港、鴛泊港、沓形港、香深港）	〃
○中継輸送、共同輸送等の実現等による生産空間に住み続けられる持続可能なサプライチェーンの構築 ➤物流システム構築に向けた取組を推進【官民共創の取組】 ・中継輸送・共同輸送の実証実験の実施 ・物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」の開催等 【官民共創の取組】 ・道北の持続可能な物流システム構築に向けた取組の推進（上川・宗谷管内） 取組内容：中継輸送・共同輸送の実証実験の実施、物流事業者間のマッチングモデル「ロジスク」の開催等 推進体制：共同輸送・中継輸送実装研究会（国、道、市町村、民間） ・道北地域づくりアクションプランの推進（上川管内） 取組内容：令和６年度に開催した道北地域づくりワークショップにて作成されたアクションプランの実行 推進主体：国、道、市町村、民間	国、道、市町村、民間

道北連携地域「地域づくり推進ビジョン」

III 地域重点プロジェクト

5－（1）
北海道型地域構造を支える人流・物流ネットワーク形成プロジェクト　／推進主体：国　■推進エリア：道北連携地域　（2/2）

主な取組	実施主体	主な取組	実施主体
【官民共創の取組】 ・宗谷管内の「官民連携プラットフォーム」の構築 取組内容：宗谷管内の価値を高めるとともに、地域が直面する様々な課題の解決を図ることを目的として、多様な施策の実施主体による官民連携のプラットフォームを構築する。 ①：宗谷管内の民間人を主体とした会議において意見交換を行い、取り組むべき年間のテーマを検討する。 ②：会議の検討結果等について、宗谷総合振興局及び管内自治体に情報共有し、宗谷地域づくり連携会議において、テーマについて意見交換を行う。 ③：上記①及び②の意見交換の結果を基に、シンポジウムを開催する。 推進体制：国、道、市町村、民間			